



平野 勝澄 議員

8人が登壇 26年度予算への町民要望はどう取り扱っているか

町長

□公益性、必然性、緊急性や優先性を検討し判断している

議員 ①雇用確保と中小企業支援、②農林業生産物の価格安定と販路拡大、③介護保険の低所得世帯に対する減免措置等、④国保料負担軽減を広域連合に働きかけること、⑤福祉灯油券の発行継続と対象拡大、⑥除雪補助の拡充、⑦公民館使用料の無料化等の町民要望を伝えていたが、予算に盛り込まれたか、検討をしたか。福祉灯油は県の一部助成決断を踏まえ、改めて拡充の

考えはないか。

町長 要望・意見はしっかり伺い、区長さん方とも情報共有し、喫緊の課題への対応、中長期的課題への計画的な対応を行っている。
①昨年は用地取得奨励金限度額を引き上げ、新年度においても雇用奨励金を当初予算計上、創業奨励金を補正予算で支援する。6次産業化推進のため、きめ細かい起業家支援を行う。
②コメ、麦、大豆は国からの交付金と農業者

の積み立てにより措置。野菜35品目は国及び県出荷団体等による制度があるため町独自の安定策は講じていない。販路拡大に一定の経費の助成を行っている。
③財源の不足から現行を上回る対策は困難。
④これも現状では困難。
⑤県の補助対象額を上回る助成をしており、上乗せは考えていない。
⑥利用可能作業員数を8人に倍増し、今冬は160世帯の申請、延べ182件の利用があ

った。⑦利用者・非利用者の負担不均衡が生じないよう無料化はしない。芸術文化協議会加盟団体は3割負担に減免、町民芸術祭開催1か月前からは使用料を無料とする等の支援をしている。



中央公民館での子ども伝承祭

他の質問

- 国民健康保険に関する窓口事務について
- 消費税増税による町民生活への影響について

観光振興で 活力ある町づくりを

町長

□梅里苑を拠点に当町らしい体験滞在型商品開発を推進



大友 又治 議員

議員 梅里苑を観光・イベントの拠点に。

町長 梅里苑を拠点に、町内3軒の農家民宿や差首鍋地区生涯学習センター「まざれや」と連携する。
最上地域観光協議会と連携した巨木ツアーや、点在する観光資源の活用及び農林業体験、スポーツ合宿、トロツコ、産直施設などを、季節や参加者の目的に合わせたプランとして提案し、当町らしい体験・滞在型の商品開発を推進する。

議員 スノーモービルなど雪を利用した観光振興の考えは。

町長 梅里苑周辺で「雪遊会」がスノーモービルランドとして活動しているが、一般の利用は多くない。
一方、古河市から冬に訪れる子ども達は雪との触れ合いが大好き

で、ソリ滑りやスノーモービル乗車などを喜んでいる。

雪資源の活用は、冬季観光振興の視点から重要であるが、観光誘客イベントとしての取り組みは、運営組織体制の整備や収支などを含め検討を要する。

議員 郷土料理と郷土芸能で誘客を。

町長 「第9回釜淵行燈番楽」「八敷代番楽幕開き」は、大勢のお客様から、伝統の舞と

心のこもった地元料理に好評をいただいている。

梅里苑を拠点に、巨木やトロツコ、雪をはじめとする観光資源を活用し、郷土料理や伝統芸能を織り交ぜた、体験滞在型のメニューの提供に努めたい。

議員 うめ子ちゃんジュニア作製の考えは。

町長 うめ子ちゃんの認知度を高め、「ゆるキャラ」としてのイメージ定着を最優先とす



人気者のうめ子ちゃん

他の質問

- 山形DCへの町の対応は